

大野 立志 議員



一問一答方式

- ① 財政
- ② 山鳥坂ダム建設事業
- ③ 新型コロナウイルス感染症対策としての中小企業への支援

財政について

問

合併後喫緊の課題は財政再建で、平成29年度までの13年間で、市民の皆様のご理解と職員の皆さんの断続的な努力で財政再建が行われたが、返済した地方債が合併当初の残高に戻るのではないかと危惧する。財政規律についてどのような考えで財政運営しているのか。

答

近年は学校耐震化事業などの大規模事業に加え、豪雨災害に伴

う復旧・復興事業や感染症対策事業など歳出の増加により起債残高も増加し、今後厳しい財政運営を強いられることが見込まれます。

このことから財政規律として数値目標などの指針を示すべきと考えており、例えば起債限度額や実質公債費比率などの財政指標のほか、中・長期的な健全に財政運営するための考え方を方針として定め、公共施設等の整備、改修、その他事務事業実施の優先順位などの検討を加えるように、現在内部の組織として大洲市財政健全化推進委員会を立ち上げました。

山鳥坂ダム建設事業について

問

ダム完成後の河辺川流域の地域振興ビジョンの見通しをどのように考えているか。

答

河辺川流域には緑豊かな自然環境、トマトやアマゴなどの農林水産物など多くの地域資源があり、ダム完成後には河辺川のきれいな水が流れ込んだ湖がこれらの魅力ある地域資源に加わります。このような地域の特性を最大限活用し、ワーケーションやお試し移住など、外部

からの人材を受け入れながら、地域課題を解決できる振興策を検討することが必要と考えています。

具体的な計画は庁内の関係部署、流域住民の皆様、まちづくりに取り組んでいる団体の皆様と連携し、市外からの来訪者や愛媛大学など、専門的な立場からのご意見も参考に、将来にわたり持続可能な地域となれる魅力ある振興計画を策定したいと考えています。

また、山鳥坂ダム地域振興基金を活用しながら関係地域の活動にも積極的に支援していきます。肱川流域の文化や歴史を活かしながら緑豊かな肱川の風景と育まれた文化、流域で息づく営みを未来へとつなげるため治水対策や防災・減災対策に取り組み、肱川の魅力を最大限に活用し、まちづくりを進めたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症対策としての中小企業への支援について

問

中小企業診断士等相談業務、行政書士補助金申請業務支援事業を新たに立ち上げたが、事業者の経営相談に取り組む中で個々の事業経

営の課題を見据えた支援を行うことへの理事者の所見は。

答

ウイズコロナ、アフターコロナを意識した新たな事業展開を行うに当たり、事業者を専門的な見地からサポートし、経営改善や戦略へのヒントを探り課題解決に向けた支援ができればと考えています。1次相談では、総合的な窓口相談として事業者の抱えている課題を聴取し、事業者のテーマと客観的に見たテーマにズレがないか見極め、経営上の課題を抽出し適切なアドバイザーを確定して2次相談につなげます。2次相談では、より踏み込んだ形で相談内容を確認しながら事業者に寄り添い、必要な経営改善などを確立していくために助言していきます。

これらの相談業務を通じ、しっかりと現在の課題を把握し、ともに協議・検討することで打開策を見いだせると考えており、専門家の知見に触れ、助言を得る中でコロナ禍でも前進できる方策を必ず見い出せると感じています。

なお、これらの相談を通じて新たな投資が必要となる方への補助制度も新設する予定です。